



小金ほのぼの食堂の会・子ども食堂の準備



まつど地域活躍塾つながりの会・SDGs 講座

まつどを元気に！

まつど地域活躍塾 修了生日記

今回の市民活動特集号では、地域で活躍したい人が受講する『まつど地域活躍塾』を修了した人にスポットを当て、現在の活動や活躍塾の魅力についてインタビューしました。



人材パワーアップセンター・わくわくストレッチ



まつどフードバンク・ハロウィン子どもまつり



まつどでつながるプロジェクト・オンラインミーティング

まつど地域活躍塾とは

- ☐ 松戸をより暮らしやすい街にするために、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの地域で団体活動したい人のための塾です。
- ☐ 1年を通してゲストの講演を聞いたり、関心のある分野で実地体験をしたり、塾生同士のワークショップを行います。「何か」を始めたい人や自分の実現したいことをカタチにしたい人など、これまで多くの方が受講しています。

※このページの写真はまつど地域活躍塾の実地体験の様子です。

新しい発見ばかりでした

まつど地域活躍塾（以下、活躍塾）修了後はどんな活動を行っていますか

料理を通じて食の大切さを伝える活動を実施中

「メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュラル」という団体の代表として、料理体験教室などの活動を行っている笠井さん。父親が主体的に家事・育児へ参加するきっかけづくりのため、今年度の協働事業（下記参照）として、市の男女共同参画課と共に父親と子どもを対象にしたお菓子づくり事業を行っています。



かさい ともこ
笠井 智子さん

—入塾したきっかけは

普段はホテルで料理やお菓子など、食に携わる仕事をしています。職場と家の往復だけをしていることがずっと気になっていて、仕事以外にも自分のできることを増やしたいと考えて、活躍塾を受講することを決めました。愛着のある松戸で活動ができればいいな、という思いがありました。



—活躍塾で印象に残っていることは

子ども食堂やフードバンク活動を行っている方の講義が一番印象に残っています。その方は仕事や地域活動で3枚の名刺を持っているというお話をされていて、自分自身に大切にしたい柱があれば、いろいろチャレンジしていいんだ、という気持ちにさせてもらえました。私の場合は食を通じてみんなを笑顔にしたいと考えているのですが、一見直接関係のないようなことでも、柔軟に取り入れていこうと思えるようになりました。

—実地体験はいかがでしたか

実地体験では里やまの維持管理活動や青少年の居場所の運営に参加しました。会社組織とは違って参加するメンバーは同じ想いや目的を持って参加していて、みんなフラットな関係なので、意見を言いやすく一人ひとりが尊重されていることが新しい発見でした。職場と家以外のもう一つの場所があるということはとても良いことですね。



高校でも活動しています



かわいいお菓子に
子どもたちも大喜び



—今年は市と協働事業を行います、意気込みは

「パートナーが家事をあまりやってくれない」といった話を耳にすることが多く、父親に向けて料理をテーマにした事業ができないかと考えて、協働事業に応募しました。

男女共同参画課と一緒に取り組み、お互いにアイデアを出し合いながら企画を考えました。親子で一緒にお菓子を作ることで、ものづくりの楽しさ、食の大切さを感じられる機会になると思います。また、お父さん同士の交流が生まれる企画も用意していますよ。

—活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

何か始めてみたいと考えている方には、ぜひお勧めしたいです。新しいことを始めるにはエネルギーが必要ですが、活躍塾は緩く参加するだけでも人とのつながりができ、背中を押してもらえます。活躍塾を運営しているまつど市民活動サポートセンター（以下、「サポセン」）のスタッフにもアドバイスしてもらえますし、パワーをもらえますよ。

今年度の協働事業として笠井さんの団体の提案が採用されました

協働 父と子のお菓子づくり体験教室 ～ヨーグルト&ベリーのアチーズケーキ～ 要申込

父親と子どもが一緒にお菓子づくりを体験できます。また、父親として子育てや家庭での役割について考えるワークショップを実施します。

日時6月20日(日)13時30分～16時30分 会場市民会館 講師[お菓子作り]パティシエ・笠井智子氏
[ワークショップ]新松戸フラットパパ・横沼秀治氏 対象4歳以上の子と父親 定員先着10組

持ち物エプロン、ハンドタオル、布巾2枚 費用無料

申し込みフォームで

☎メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュラル・笠井✉izarra@orion.ocn.ne.jp



申し込みフォーム





仕事や育児以外の つながりができます!



たきもと さやか
龍本 沙弥佳さん

修了後はどんな活動を行っていますか

ワーキングマザーの会を立ち上げました

龍本さんは、松戸で出会った仲間と今年3月から「ワーキングマザーの会@松戸～柏～我孫子」を立ち上げて活動中です。子育ての話だけではなく、母でもなく妻でもなく、一個人として話ができる場づくりを目指しています。

—入塾したきっかけは

一昨年出産したのですが、勤めている都内の会社まで往復3時間の通勤をしながら子育てするイメージが湧かず、家の近くで新しく何かできないかと思ったのがきっかけでした。スキルを生かして活動したいと思っていたのですが、松戸のことを全く知らないことに気が付きました。そんな中、広報まつどで活躍塾の募集を見て、オンライン受講ができると知り、家事や育児しながらでもできるかなと気軽な気持ちで応募しました。

—子育てとの両立はどうでしたか。

育休中の受講でしたが、基本的に平日午後の時間帯の回が多かったので受講しやすかったと感じています。

去年は新型コロナウイルスの影響で、子どものイベントも行事も全てなくなって、予定としては活躍塾くらいだったので、リフレッシュにもなりました。



ワーキングマザーの会のメンバーと
(右・龍本さん)

—活躍塾で印象に残っていることは

介護施設を運営している方の特別講義が印象に残りました。介護業界の常識を覆すようなさまざまな取り組みをされており、本当の介護とは?という概念に向き合ってそれを形にしてこられた話は、大変参考になりました。

他にも毎回いろいろなテーマで講義が行われるのですが、子どもや地域活動のことなど、住んでいるのに知らないことがたくさんあって視野が広がったと思います。

—今後の活動をどのように考えていますか

チャレンジすることに喜びを感じ、日々のモチベーションにつながるので、仕事に復帰した後も無理せず活動を続けていければと考えています。

—活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

気軽に参加してほしいと思います。「活躍塾」というと何か成果を残さないといけないようなイメージですが、まずは地域を知るという動機でもいいと思います。また、オンライン受講もできるので、子どもと一緒に自宅で受講できたのも良かったですし、育児や仕事以外の地域の人たちとのつながりができたのも良かったです。サポセンの皆さんはとても親切・丁寧で心強いので、安心して受講できると思います。

「松戸」の見え方が 変わりました

修了後はどんな活動を行っていますか

「遊び心」をテーマにした市民活動を模索中

メーカーに勤めている濱田さんは、新型コロナウイルスが影響して、人によってコミュニケーションに格差が生じているのではないかと感じ、ナナメの関係を作れるような「おしゃべりの会」が始められないかと行動しています。



はまだ よしあき
濱田 美明さん

—入塾したきっかけは

新型コロナウイルスのために一時休業になり、自宅にいる時間が増えて、漠然とリタイア後のことを考える時間ができました。それまでほとんど地域活動に参加したことがなかったのですが、仕事で身に付けたスキルを活用して、せっかくなら自分の住む地域で何かしたいという気持ちが湧いてきて、広報まつどを細かく見るようになりました。そこで活躍塾の募集の記事を見つけたのがきっかけです。

—活躍塾で印象に残っていることは

さまざまなテーマで行われた講義を通して、松戸市にも地域の課題があるんだなと思いました。それを多くの方がそれぞれのコミュニティで解決しようとしていて、活躍塾に参加しなければ、全く知ることもなかったと思います。受講後は、松戸の見え方が変わりました。

—実地体験はいかがでしたか

里やまの維持管理活動や健康ストレッチ体験などに参加しました。山林の保護のため木の伐採作業や家族参加の自然体験会のお手伝いでは、参加した子どもも大人もみんな笑顔で、印象に残っていますね。運営している方が「ここには、家族や会社などの“タテの関係”、同世代の“ヨコの関係”と違う、“ナナメの関係”がある」と話されていて、新しい発見でした。

—活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

松戸市をよく知るきっかけになりました。松戸市の地域課題やその課題を自分たちで解決しようと活動している人を知ることができました。漠然と何かやりたいと考えている人も、堅苦しく考えずに、まず受講してみるといいと思います。

市内にあるいろいろな団体がどのようにして立ち上がったのか、運営をどうするのかなどの現実的な話も聞けますし、参加して興味があることを積極的に聞いてみてほしいです。



活躍塾の実地体験 (里やま維持管理活動)

まつど地域活躍塾 第5期生を募集します **要申込**

受講期間 7月1日(木)～令和4年2月10日(木)

会場 Zoomによるオンライン講義、まつど市民活動サポートセンター、実地体験の体験先

内容

- 市内で活躍する方の活動についての講義
- 市内の市民活動団体・NPO・町会自治会などでの実地体験
(7月ごろに実地体験のみの参加者を募集予定)
- 活躍塾OB・OGも交えたプロジェクト形式のゼミ活動

対象 地域で活動する意思のある市内在住・在勤・在学の18歳以上

※原則として、インターネットを利用できるパソコン・通信環境を持つ人。
環境に不安がある場合は個別にサポートします。

定員 40人 (申込多数の場合は書類選考)

費用 5,000円 (途中で退塾した場合、払い戻しは行いません)

申 6月15日(火) [必着] までに、市ホームページに掲載の応募フォームまたは郵送、Eメールで申込書とレポート「まつど地域活躍塾で学び、実践したいこと(400字以内)」を〒271-0094松戸市上矢切299の1まつど市民活動サポートセンター☎hai_saposen@matsudo-sc.com (☎365-5522) へ

※申込書はまつど市民活動サポートセンターで配布または市ホームページでダウンロードできます。市ホームページに掲載の応募フォームで申し込む場合は不要。



実地体験の様子



講義はオンライン (Zoom) により実施します



市ホームページ

講義日程

コース	実施日 (予定)	内容	
公開講演会 (講師 俳優・東ちづる氏)	5/25(火)	『まぜこぜの社会』をめざして～あさく、ひろく、ゆるくつながる～	
基礎コース	入塾式 / オリエンテーション	7/ 1(木) 松戸の全体像を学ぶ、地域で自分らしく活躍する秘訣	
	第1単元 活躍塾OB・OGに聞く！私と地域活動の関わり方	7/15(木)	これまでの経験を生かして、無理なく活動に参加するには
		7/29(木)	地域で自分の思いを実現させるためのステップ
	実地体験	8/ 7(土)	実地体験オリエンテーション
		8/ 8(日)	実地体験期間開始 (11/10(木)まで)
	第2単元 松戸の地域課題を知り、求められている活動を考える	8/26(木)	いま地域に必要なシニアの役割と出番～松戸市の高齢化の現状から～
		9/ 9(木)	制度だけでは支えられない、子ども・子育ての孤立を減らす取り組み
	第3単元 地域共生ですべての市民が暮らしやすい街へ	9/30(木)	松戸市が目指す多世代まるごとの居場所づくり
		10/14(木)	つながりづらい人との出会いを生み出す仕掛けづくり
	振り返りワークショップ	11/11(木)	講義と実地体験を振り返り、これからの活動に生かす
まとめ&修了式	11/25(木)	修了式、地域活躍塾OB・OG特別講義	
発展コース		12/ 4(土)	まつどみらいカイギ2021への参加
	活躍塾OB・OGと共に取り組む松戸の魅力アップ実践ゼミ	R4/ 1/13(木)	テーマごとのプロジェクト作戦会議
		1/27(木)	中間報告
		2/10(木)	実践に向けたプレゼンテーション

広告